

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year I		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year I		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	樽井 武		
居室	東1-712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
樽井	

【主題および達成目標】
<p>アカデミックな分野で使用する英語の4技能（聴く力、話す力、読む力、書く力）の向上を目指すのは当然ながら、特に技術者として英語を使う側面に焦点をあてた講義としたい。具体的には、自分の興味のあるトピックを選び、問題を設定し、様々な資料を利用して自分なりの解決策をまとめるといった作業を英語（一部日本語）で行う。その時に生じる様々な問題点を講義内で考えながら解決していく。英語、研究方法、研究のまとめ方、研究の発表等様々な問題の発生が予想されるが、その都度適切な対策を示しながら、学生全員が英語でレポート・ポスター・プレゼンテーション・ディスカッション等を完成できるまで指導する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
1年次の必修科目

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：Power-Up English JACETリスニング研究会編 南雲堂

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

教科書のモデル学習を通して学習方法やまとめ方等を学んだ後で、学生は各自の興味に応じて個別学習を行う。その結果を様々な形で発表し、他の学生等の評価を参考にしながら最終課題に取り組む。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業関連（予習・発表・まとめ等）[50%]および課題[50%]

履修条件：

正当な理由なく授業の1/3以上欠席した場合は、単位を認めない。

英語力の一部の客観的評価を得るためにTOEICテストを受験することが望ましい！

課題（個人学習）

各自の興味あるテーマを選び、ポスターやプレゼンテーション(power point)等を製作する

- * 印刷物と音声セットになっていること
- * 製作に使用した全ての資料がファイルしてあること
- * 製作に必要な機材や製作方法等は相談に応じる

【オフィスアワー：授業相談】

予約のある相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

受講する時の英語の力は問わない。英語が苦手、普通、ちょっと得意、英語オタク等どんな学生でも歓迎する。本講義で準備したプログラムを学習して、本当の英語力の獲得を強く望む学生の参加を強く望む。講義・学生諸君の個人学習・言語自習室や図書館等を十分に活用し、技術者に必要とされる英語の基礎を確実に身に付けるための講義を目指している。通年を通して学んだ結果がTOEICテストのスコアで100点UPするのが目標である。（ただし、本講義はTOEICテストの準備講座ではない・・・念のため。）

【その他】

本講義は、後期に開講されるAcademic English 2 ?Uと密接に関連している。従って、Academic English 2 ?TとAcademic English 2 ?Uを通年で受講すれば効果的に英語の力を向上させることができる。

言語自習室のプログラムとも有機的に関連している講義である。英語の発音（リズム）の定期的測定（4月・7月・10月・1月）および発音（リズム）の練習（初級・中級・上級）を行う。また、TOEICテストを受験して各自の英語力の向上を客観的に把握する（受験時期は、前期初めと後期末）。TOEIC受験の準備（訓練）としては、ALCの自習教材を使用することもできる。